

# 寝屋川市が中核市としてスタート

4月から寝屋川市が中核市として新たなスタートを切ることになった。中核市は人口20万人以上を有して、国から指定を



寝屋川市役所

受けることが必須条件で、全国1718市中、58市(2019年現在)のみ。北河内では枚方市とともに中核市の仲間入りを果たした。寝屋川市は民生、保健衛生、環境、都市計画、文教など、新たに多くの



寝屋川市保健所

事務権限が委ねられる。市がすでに持っている権限との相乗効果で「命・生活・未来」をキーワードに、都市格の向上を目指す。特に保健所が設置されたことで、結核・感染症・難病や精神保健・食品衛生・環境衛生など、より専門性の高い対応が可能になった。

4月、  
新スタートダッシュ!

## 中核市プレイベント「健康フェスタ」開催!

中核市移行により、市が管理・運営する保健所では、市民の心と身体の健康をサポートする地域保健行政を担う拠点とな

る。この機会に、健康の大切さを考える一日にしたいと3月9日、中核市移行プレイベントとして、「ワガヤネヤガワ健康フェスタ」が開催された。



健康について関心を寄せる市民

関西医科大学木村穰教授による「健康寿命を延ばすコツ!」と、女優の生稲晃子さんの「5度の手術と乳房再建 1800日」の講演があった。木村教授は「運動をすることは認知症予防につながる」と解説。生稲さんは「笑うこと」「普通がどれほど

大切か」を話した。生稲さんの乳がんを患った人ならではの体験談は、健康診断の重要性を示唆したものだ。

会場ロビーでは、簡易健診や保健師による相談コーナー、実物大の食品模型を使ってカロリーや栄養素が瞬時にわかる栄養管理体験、ヨガ教室、ドクターカーも展示するなど、楽しみながら健康づくりができるブースが用意され、市民の健康への関心を促した。